

平成30年度事業報告書

全 般

平成30年度は、諸事業を概ね計画どおり実施することができた。

総観覧者数については、昨年度比103.7%、240,997名と5年連続23万名を超えた。

売店売上額については、観覧者数の盛り返しに加え、お客様単価の増加により、62,842千円（昨年比114.5%）となり、過去2番目の額を記録した。

展観態勢については、展示のIT化による充実を図るとともに、特別展「三笠秘蔵連合艦隊 艦隊コレクション」を常設展に切り換え、観覧層の拡大に努めた。

1 艦の修理整備

上甲板の腐食鋼材、腐食木甲板の新替え及び船体塗装等の修理整備及び観覧者の安全対策のため工事を実施した。

(1) 官（海上自衛隊）による修理工事

（電気の部）

- ア 中甲板展示室等の照明器具（6か所）をLEDに新替え
- イ 高圧受電設備定期点検・整備
- ウ 士官室前監視カメラの故障、換装

（船体の部）

- ア 職員通用口観音開きドアを浸水対策ドアに換装
- イ 舷門入口階段架台支柱の土台切替補修
- ウ 外板板厚計測（地面付近、両舷8か所を計測）
- エ 後部天幕及び出入口階段天幕の換装
- オ 昇降口覆い（前、中、後部計6か所）換装
- カ 後部左舷木甲板（Fr130～Fr148）新替え
- キ 後部左舷舷側木甲板（Fr130～Fr148）補修
- ク 左舷後部甲板ウォーターウェイ側面FRP補修
- ケ 後部排水口枠新替え
- コ 講堂右空調機新替え
- サ 左舷12番砲室後の昇降階段の補修（工場修理）

(2) 保存会による整備

- ア 定期消防設備等点検（年2回、業者委託）
- イ 中央展示室周囲通路のワックスがけ（年2回、業者委託）
- ウ 士官室前部隣接区画に排気ダクト新設（業者施工）
- エ 上甲板昇降口用透明ビニール製防熱カーテン製作、設置（職員施工）

- オ 下甲板用「三笠艦橋の図衝立」の製作（業者及び職員施工）
- カ 下甲板控室の改装（空調設置、応接セット等換装）（業者施工）
- キ W i F i (Yokosuka_Free_WiFi) の設置
（アンテナは前部艦橋、後甲板、中央展示室）（業者施工）
- ク 講堂ステージ床カーペット張替、スクリーン周囲幕張替（業者施工）
- ケ 下甲板士官居住区全面タイルカーペット設置（業者施工）
- コ 下甲板応接スペース用テーブル及び椅子換装
- サ 第1、第2短艇帆布覆い（台風24号の暴風被害）補修（業者施工）
- シ 後部天幕支柱及び出入口階段天幕支柱の塗装整備（業者施工）
- ス ガスボンベ格納箱の換装（業者施工）
- セ 昇降口覆い（4か所）支柱の塗装整備（シルバー人材センター委託）
- ソ 大将旗の絡み除去のためのマスト作業（業者委託）
- タ 木甲板腐食部の補修（シルバー人材センター委託）
- チ 外舷、上甲板内舷、構造物、下甲板右舷小会議室等の塗装
（シルバー人材センター委託）

(3) 海上自衛隊隊員等による奉仕整備

- ア 第2術科学校海士各課程学生による艦内外の清掃及び真鍮磨きの奉仕作業を計12回（延べ181名）
- イ 横須賀地区上級海曹会会員、隊員有志及び米海軍とその家族等による上甲板全面洗浄及び艦周辺除草奉仕作業
 - (ア) 4. 9 (月) 55名
 - (イ) 5. 26 (土) 200名
 - (ウ) 9. 8 (土) 140名
 - (エ) 11. 17 (土) 100名
- ウ その他
 - 5. 13 (日)、11. 17 (日) はたかぜ後援会会員（約10名）による奉仕（艦周辺の除草）

2 展観態勢

(1) 資料の寄贈等

- 印刷：ドッカーバンク事件で砲撃を受けた英国漁船の絵葉書（5枚）
（寄贈：英国人 ジョン マーフィー氏）
- 書：伊集院軍令部次長から東郷連合艦隊司令長官への書簡（巻物）
（寄贈：東郷会）
- 旗布：戦前の記念艦「三笠」軍艦旗
（寄贈：兵庫県明石市 石本美恵子氏）
- 彫刻：「三笠艦橋の図」のレリーフ
（寄贈：西村治美氏）
- 模型：1/700 模型艦船模型（84隻）
（模型サークルミンダナオ会から購入）

(2) 資料の整備等

- ア 楽器3点の専門業者による整備

- イ 艦首飾り、補助砲（４、９、１０番）の整備
- ウ 照準望遠鏡を６番補助砲及び１２番副砲に装備

(3) 収蔵資料の現況

区分 種類	三笠保存会 (所蔵品)	海上自衛隊 (無償借受)	個人 (寄託)	30年度 受入	合計
勲章	56	0	12	0	68
武器	64	0	3	0	67
絵画	82	5	8	0	95
印刷	159	11	2	1	173
書	186	52	40	1	279
被服	86	0	9	0	95
写真	307	195	9	0	511
証紙	112	0	5	0	117
旗布	14	0	3	1	18
工作	125	21	12	0	158
陶器	19	0	4	0	23
彫刻	21	0	1	1	23
模型	21	9	37	1	68
計器	19	0	3	0	22
録音	28	0	0	0	28
図書	79	0	2	0	81
展示物品	0	8	0	0	8
合計	1,378	301	150	5	1,834

(4) 資料の貸出

実績なし。

(5) 展示のIT化事業

5、6、8、10、14番砲室へのタッチパネル説明装置の導入準備を行った。

(6) その他

ア 艦体照明装置（LED35個）を設置し、7.14（土）から、毎日日没後から三笠公園閉園時刻+1時間（夏期：2200、冬期：2100）までの間、三笠の艦体を照らすライトアップを施行中である。

イ 「三笠秘蔵 連合艦隊 艦隊コレクション」は好評につき、30.4.1（日）に特別展から常設展に移行した。

なお、日露戦争当時の艦船模型84隻のうち、4隻（累計：19隻）が納入された。

3 主催行事

(1) 日本海海戦113周年記念行事

5.27（日）13時30分から三笠講堂において、小野寺防衛大臣、小泉

衆議院議員、上地横須賀市長、渡邊横須賀地方総監、山下自衛艦隊司令官、ソイヤー米海軍第7艦隊司令官はじめ内外多数のご来賓及び三笠会員の皆様のお出向をいただき、「記念式典」を厳粛かつ盛大に挙行政した。

今年、大明寺合唱団からの要望もあり、明治150周年にあたることから、「記念合唱」（「坂の上の雲」の主題歌「Stand Alone」）を式典に続いて実施した。その後の横須賀音楽隊による「艦上演奏会」及び「艦上祝宴」とともに大盛況であった。

また、式典開始前には裏千家淡交会横須賀支部のご協力による呈茶も行われ、日曜日で天候に恵まれたこともあり会員の多くの参加者が楽しまれた。

式典参加のご来賓及び出席された三笠会員方々の内訳は次のとおりである。

区 分	出席者数	区 分	出席者数
議員等	16	友好団体	29
自衛隊部隊指揮官等	29	個人支援者	13
外国武官、米海軍指揮官等	3	三笠保存会評議員、理事等	33
ご係累	24	三笠保存会会員	310
国、県、市職員等	11	合 計	468

(2) 三笠こどもミュージアム

7.14（土）から8.26（日）までの期間、夏休み企画「三笠こどもミュージアム」を開催し、盛況のうちに終了しました。今年度は最終日8.26（日）に海上自衛隊横須賀音楽隊の艦上演奏会を初めて実施しました。

実施内容は次のとおりです。

- ・「書き込んで完成！三笠こどもノート」の配布
- ・三笠スタンプラリー（中学生以下限定）の実施
（ラリー参加者）（昨年比：90.8%）

幼 児	小学生	中学生	合 計
879	2,429	538	3,846

- ・軍服着用記念撮影コーナーの開設
- ・ハンモック体験コーナーの開設
- ・みかさ工作ルーム（みかさうちわ、みかさコースターの塗り絵）の開設
- ・掲揚軍艦旗等プレゼント申込み受付、抽選、送付
（応募者）（昨年比：84.0%）

軍艦旗	Z 旗	大将旗	合 計
393	350	120	863

（当選者）各旗1名様

- ・海上自衛隊横須賀音楽隊艦上演奏会
（8.26（日）1330-1415、前甲板、参加者約200名）

(3) 「船の模型コンクール」

「第55回船の模型コンクール」作品展を9.8（土）から10.10（水）まで下甲板において開催した。

今回は横須賀市内の小学校28校から591点の出品があり、9.4（火）横須賀市教育委員会黒澤正道指導主事による審査が行われ、金賞から努力賞ま

で66名の作品を選考、9.15(土)午前三笠講堂にて表彰式を行った。各学年の金賞作品(計6点)は中央展示室右舷側通路に次回開催まで1年間展示中である。

(4) 「子供たちのプラモデル教室」

「第12回子供たちのプラモデル教室」を、10.6(土)上甲板後部でプロモデラー長谷川伸二氏の協力を得てを開催し、子供24名と保護者25名が参加した。

(5) 「お正月イベント」

正月三が日は「お正月は三笠でパワーを！」をスローガンに次の「お正月イベント」を実施し、2,805名の観覧者が訪れた。

- ・ パワースポット(三笠神社、三笠最上艦橋)巡り
- ・ 甘酒サービス
- ・ 日本海海戦で活躍した高名な海軍軍人のスタンプラリー
- ・ 掲揚軍艦旗等プレゼント申込み受付

(6) 「書初め大会」

1.4(金)下甲板において「第26回書初め大会」を開催しました。横須賀市内の小学校6校から47名の子供たちが参加し、課題の作品を書き上げた。同日、横須賀市教育委員会高橋あずみ指導主事による審査が行われ、金賞から努力賞までの作品を選考していただき、それぞれに賞状と副賞を授与し、作品は1.5(土)から1.15(火)の間、艦内に展示した。

(7) 「新春凧あげ教室」

1.6(日)三笠公園を管理する西部パートナーズとの共催で、正月の風物詩である「凧あげ」に親しんでもらうため、三笠下甲板と三笠公園において「第11回新春凧あげ教室」を開催した。

当日は19名が参加し、「日本凧の会」の会員の協力を得て、午前中は自分たちで書いたオリジナルの絵を持ち込んで和凧作りを行い、午後からは三笠公園内の芝生広場で「凧あげ」に挑戦した。

(8) 「こどもラジオ教室」

3.21(木)三笠下甲板において、三笠保存会、(株)横須賀テレコムリサーチパーク、YRP研究開発推進協会の共催で、小中学生等25名の参加を得て「こどもラジオ教室」を開催した。講師は三笠保存会評議員太田氏が、また工作指導はYRPアマチュア無線クラブ等5名があたり、参加者は熱心にゲルマニウムラジオの製作に取り組んだ。

4 協賛行事等

(1) 「日米親善よこすかスプリングフェスタ2018」

4.7(土)同フェスタに協賛し、観覧料金(一般)を100円引きとした。米軍基地入場者は35,000名、三笠の有料観覧者数は2,714名で、三笠艦上も三笠売店も賑わった。

(2) 廣瀬武夫中佐生誕150周年企画展

4.28(土)から6.3(日)まで、5番及び7番砲室における企画展「菅野泰紀 鉛筆艦船画展 肖像 海の防人たち今昔」に会場を提供した。

また、この間、ギャラリートーク（計4日間）及び次の講演会等に協力した。

- ・ 4. 24（土）海の防人のお話を聴く会（80名）講師：近藤恭三氏（航空母艦「瑞鶴」元乗組員）
- ・ 5. 6（日）広瀬武夫生誕150周年記念講演会（70名）講師：古庄幸一氏（元海上幕僚長）、久野潤氏（大阪観光大学講師）
- ・ 6. 3（日）海の防人のお話を聴く会（60名）講師：高田忠氏（海兵74期、元おおなみ艦長）

(3) よこすかカレーフェスティバル

5. 19（土）及び5. 20（日）の2日間、三笠公園において「2018よこすかカレーフェスティバル」が行われ、好天にも恵まれたこともあり会場への入場者数は2日間で約53,000名、三笠の有料観覧数は5703名（昨年比：98.9%）でした。

記念艦三笠は、同行事に協賛し、例年どおり観覧料を一律300円（中学生以下は無料）とし、「スタンプラリー」、「ハンモック体験コーナー」、「軍服着用、記念写真コーナー」及び「艦上臨時売店開設」を行った。

(4) 読売カルチャー横浜講座

6. 1（金）日本遺産関連講座「戦艦三笠がみた日本の100年」（全3回）に協賛し、講座参加者の艦内見学及び士官室でのカレー昼食会に協力した。（12名）

(5) 産経新聞企画ツアー

6. 2（土）及び6. 3（日）「海軍鎮守府横須賀の歴史」ツアーに協賛し、講演会会場として講堂を提供した。（計283名）

(6) よこすかYYのりものフェスタ

6. 9（土）及び6. 10（日）の2日間、ヴェルニー公園会場等において「2018よこすかYYのりものフェスタ」が行われた。今年も三笠公園でのイベントはなかったが、例年どおり本フェスタに協賛した。観覧料を一律300円（中学生以下は無料）としたが、日曜日は雨となり有料観覧者数は2,415名（昨年比：61.8%）であった。

(7) 近代歴史遺産活用事業推進協議会企画ツアー

6. 16（土）同ツアー「親子で行く 三笠、猿島探検隊」に協賛し、参加者62名（30組親子）に対し、三笠の説明、DVD「語り継ぐ思い」の上映、艦内案内などで協力した。

(8) 「三笠艦記念第10回スポーツひのまるキッズ関東小学生柔道大会」

6. 17（日）に横浜文化体育館で開催された上記大会に協賛し、協賛金（広告）、景品を拠出するとともに、荒川理事長、中塚事務局長が大会を観戦した。

(9) 「日本遺産認定関連行事」

横須賀市集客促進実行委員会、三笠ビル商店街協同組合、三笠保存会の共催で以下の行事を実施した。

ア 三笠×MIKASAタッグキャンペーン

次のイベントに協賛した。

- ・ 7. 7（土）：日本海海戦綱引き
- ・ 11. 3（土）～12. 8（土）：三笠ビル商店街イベント、横須賀パワ

ースポットめぐり「スタンプラリー」

イ 「日本遺産WEEK」

- ・ 10. 7 (日) 同関連行事に協賛し、「ラッパ隊の演奏会」(観客約100名)及び「ジャズバンドのライブ演奏会」(観客約70名)の会場として上甲板を無料提供した。
- ・ 10. 7 (日) から10. 14 (日) の間、同関連行事に協賛し、「日本遺産パネル・写真展～写真家ストラーン久美子」の会場として、5番砲室を無料提供した。

(10) 横須賀流灯会 (灯籠流しの会)

7. 16 (月) に三笠公園内で実施された横須賀流灯会に協賛し、灯籠のお見送り家族(940名)に対し上甲板の一部を開放した。

(11) ドル街\$横須賀

7. 30 (月) から横須賀市集客促進実行委員会主催の「ドル街\$横須賀」(横須賀市内の飲食店等でUSドルが使用できる。)に協賛し、観覧料のUSドル使用に対応した。(140名)また、11. 3 (土) から3. 31 (日) までの間、関連行事として「スカジャン割」(観覧料300円)に協賛した。

(12) よこすか開国花火大会

8. 4 (土) よこすか開国花火大会に協賛して上甲板を開放し、主催者招待者(232名)及び三笠保存会招待者(362名)合わせて585名が乗艦し、艦上から花火大会を満喫されました。

(13) 日本海で処分された呂500探索プロジェクト講演会

8. 5 (日) ラ・プロンジェ深海工学会が主催する同講演会に協賛し、講演会場として講堂を提供、60名が参加した。

(14) 平成30年度横須賀夏期防衛講座

8. 11 (土) 同講座共催団体として講演会(講師:外務副大臣 参議院議員 佐藤正久氏 及び 参議院議員 三浦信祐氏)会場として講堂を、講演会後の懇親会会場として後甲板を提供、約280名が参加された。

(15) 株KADOKAWA企画1DAYバスツアー

「扶桑撫子ノ極秘作戦 隠密偵察横須賀猿島」編

8. 19 (日) 同企画に協賛し、講堂をイベント会場として提供し、161名が参加した。

(16) Pokemon GO Safari Zone in YOKOSUKA

8. 29 (水) ~9. 2 (日) の間、横須賀集客実行委員会主催の同イベントに協賛し、イベント参加者の観覧料割引(大人、高校生100円引き)を行った。

(17) 「横須賀サイクリング」

9. 19 (水) から31. 3. 20 (水) の間で行われた「横須賀サイクリング完走証でスカジャンサイクルジャージを当てよう!」に協賛し、スタンプラリーのラリーポイントとして舷門入口にスタンプ台を設置した。

(18) 「海軍さんの港まちスタンプラリー」

9. 23 (日) から2021. 2. 12 (金) の間で行われる「日本遺産「鎮守府」をめぐるスタンプラリー」に協賛し、スタンプラリーポイントとして舷

門入口にスタンプ台を設置中である。

(19) 第6回 Yokosuka 海道ウォーク

9. 29 (土) 横須賀市内で行われた同イベントに協賛し、協賛金及び景品を供出した。

(20) 「横須賀×南房総サイクルスタンプラリー2018」

10. 1 (月) から11. 30 (金) の間で行われた同イベントに協賛し、スタンプラリーポイントとして舷門入口にスタンプ台を設置した。

(21) 「よこすか海洋シンポジウム2018/海洋教育フォーラム」

10. 14 (日) 同イベントに協賛し、テーマ「もっと船を知りたい!」の講演会会場として講堂を提供した。(講演参加者: 130名)

なお、第2部で中塚事務局長が講師として「記念艦三笠の今日」と題して講演を行った。

(22) 「戸村裕行 水中写真展」

10. 20 (土) から31. 1. 31 (木) までの間、同写真展「群青の追憶」に協賛し、会場として5番、7番砲室を提供した。

(23) 「キッズウィーク割(横須賀商工会議所90周年家族割)」

10. 20 (土) から11. 4 (日) 同企画に協賛し、家族同伴の一般・シニアの観覧料を300円に割り引いた。

(24) 「よこすか産業まつり」

11. 3 (土)、11. 4 (日) の両日、同イベントに協賛し、観覧料を一律300円(中学生以下は無料)とするとともに、艦内では軍服着用記念写真、ハンモック体験コーナー、艦内スタンプラリーを実施した。三笠公園には2日間で約36,000名の入園があり、三笠には3,452名が入艦した。

(25) 「国旗のある自由画入選作品展」

11. 8 (木) から11. 29 (木) までの間、国旗協会の作品展に協賛し、第2ビデオ室に入選作品22点を展示した。

(26) 横須賀市民大学講座(横須賀無線史)

11. 9 (金) 横須賀テレコムリサーチパーク無線歴史資料室長太田氏が行う同行事に協賛し、三六式無線機の見学及び下甲板での三笠紹介とセミナーを行った。

(27) 「コスプレイベント ミツボシ」

11. 10 (土) 同イベントに協賛し、イベント参加者の観覧料を団体料金(100円引き)とした。

(28) 「横須賀市民割」

横須賀商工会議所主催の「横須賀市民割」に協賛し、2月中横須賀市民、三浦市民、逗子市民、葉山町民などの大人、シニア観覧料を300円とした。

(29) 「横浜横須賀めぐりサイクルスタンプラリー」

3. 1 (金) から6. 9 (日) までの間、同スタンプラリーに協賛し、スタンプラリーポイントとして舷門入口にスタンプ台を設置中である。

(30) 「日米親善よこすかスプリングフェスタ2019」

3. 30 (土) 同フェスタに協賛し、観覧料金(一般)を100円引きとした。米軍基地入場者は38,000名、三笠の有料観覧者数は2,031名で、

三笠艦上も三笠売店も賑わった。

5 広 報

(1) 広報資料の配布

ア 4月：昨年度団体来艦者が多かった1都13県の旅行業者（10, 263社）にパンフレットを送付した。

イ 11月：今年度来艦した旅行業者（385社）に再来艦気運醸成のためパンフレットを送付した。

(2) 委託ガイドによる定時艦内ガイドツアー

土日及び祝日に三笠観覧者の希望者に艦内ガイドツアーを569回（5回／日、延べ15, 459名）実施した。

(3) 看板等の設置

京急横須賀中央駅の三笠観覧案内をステーションメディアからナビタに更新して掲出中である。

(4) SNS広報

フェイスブック、ツイッター、インスタグラム、トリップアドバイザーなどでの情報発信を行っている。国内外多数の旅行者が参照する世界最大に口コミサイトであるトリップアドバイザーでは横須賀市の観光スポット138か所中1位の高評価を得る成果を上げている。

(5) メールマガジンの配信

三笠に対する関心を維持向上するため、役員及び会員等の希望者に対し行事の予定、実施の状況等をお知らせするメールマガジンを4回配信した。

(6) 会報「みかさ」の発行

「みかさ」第31号を作成し、会員及び関係先に配布した。

(7) 広報記事の新聞等への掲載

毎日、産経、神奈川新聞、防衛協会会報、歴史街道、ゼンリン地図などに記念艦「三笠」のPR記事を掲載した。（有料14件、無料66件）

(8) 観光事業者等との交流

2.6(水)横須賀市観光協会主催の商談会に総務部長及び広報課長が参加し、集客広報活動を行った。

(9) 雑誌による広報

「歴史街道」に2年間計12回（隔月掲載）の三笠の特集記事を掲載中であり、今年度は4回実施した。

(10) 報道機関等への協力

ア テレビ局等への協力

協 力 先	協 力 内 容
CSディスカバリーチャンネル	おあそびマスターズ
TBSテレビ	バナナマンのせっかくグルメ
チャンネル桜	日本海海戦記念式典の中継
CSフジ	「ウルトラ怪獣散歩」

ロシア国営テレビ	「日露戦争ドキュメンタリー番組」
テレビ東京	「ハーフタイムツアーズ」
虎ノ門ニュース	「元瑞鶴乗組員近藤氏インタビュー」
タイ王国テレビ局	「三笠撮影」

イ 雑誌等への協力

協力先	協力内容
JTBパブリッシング	るるぶ観光データベースの更新
(株)PHP研究所	「歴史街道」
防衛省	広報誌「MAMORU」11月号表紙撮影
雑誌「ファミ通」	メカニックデザイナー宮武氏・石渡氏対談の取材
エイ出版	DISCOVER JAPAN11月号の取材。

(11) 実習等への協力

ア 中学生の職場体験学習受入れ

次の横須賀市立中学校の職場体験学習に協力し、金物磨き及び観覧者対応を体験させ、働くことの意義や喜び等を実感させた。

- ・ 6. 27 (水)～6. 29 (金) 野比中学校2年生3名
- ・ 11. 7 (水)～11. 9 (金) 常葉中学校2年生3名

イ 中学生の教育実習受入れ

5. 16 (水) 宮城教育大学附属中学校3年生(5名)の実習に協力

ウ 高校生職場体験学習受入れ

8. 9 (木) 神奈川新聞社が受入れた桐蔭学園高校生徒(3名)の職場体験学習に協力

エ 横須賀海洋少年団への協力

横須賀海洋少年団の訓練に計11回協力した。

6 観覧者

無料観覧者を含めた総観覧者数は240,997人であった。開艦以来900万人目(4. 14 (土))及び今年度10万人目(8. 16 (木))、20万人目(1. 19 (土))に認定セレモニーを開催した。

(1) 有料観覧者数

月別	平成30年度	前年度比 (%)	平成29年度
	有料観覧人員		有料観覧人員
4	19,525	121.8	16,025
5	28,779	108.4	26,554
6	17,983	75.7	23,755
7	14,123	88.7	15,931
8	21,706	101.4	21,413
9	20,359	106.5	19,113
10	22,112	110.2	20,062
11	21,158	110.6	19,122
12	9,085	106.3	8,543

1	12,589	120.7	10,434
2	12,115	101.4	11,951
3	18,053	100.6	17,945
有料計	217,587	103.1	210,848
無料計	23,410	108.9	21,498
総計	240,997	103.7	232,346

(2) 観覧料収入

観覧料収入は 111,596,350 円（前年度比 103.3%）となった。

（参考）29年度：108,083,500 円 28年度：118,763,700 円

(3) 団体観覧者

ア団体観覧者数 55,929 名（前年度比：102.4%）

イ団体観覧者数上位都府県 ※ ○内数字は昨年度の順位

順位	都府県	延人員（前年度比）	順位	都府県	延人員（前年度比）
1	東京①	21,801 (100.7%)	6	千葉③	2,817 (76.9%)
2	神奈川②	5,616 (100.8%)	7	長野⑥	1,914 (110.2%)
3	埼玉④	3,605 (108.3%)	8	群馬⑨	1,851 (115.5%)
4	茨城⑦	3,333 (198.8%)	9	栃木⑩	1,398 (96.4%)
5	静岡⑤	2,944 (116.1%)	10	山梨⑧	1,316 (80.7%)

(4) 主要来艦者

4月	青山繁晴参議院議員 ベトナム国防省高官一行 英フリゲート艦サザーランド艦長カナル中佐以下士官5名
5月	インドネシア国防大学学部長スマントリ少将ほか学生31名
6月	三笠建造の地、英国バロー町元町長ジョン・マーフィー氏
8月	夏期防衛講座参加 外務副大臣 参議院議員 佐藤正久氏（講師） 参議院議員 三浦信祐氏（講師） 公明党副代表 衆議院議員 古谷範子氏 神奈川県議会議員 竹内英明氏 牧島 功氏 亀井貴嗣氏 横須賀市長 上地克明氏 横須賀市議会議長 木下憲司氏 防大副校長 香月 智氏 防衛大学校幹事 納富 中陸将 陸自高等工科学学校長 堀江祐一陸将補 陸自通信学校長 田浦尚之陸将補 海自横須賀地方総監 渡邊剛次郎海将 第1護衛隊群司令 江川 浩海将補
10月	上地克明横須賀市長（日本遺産WEEK三笠艦上ジャズ視察） ウクライナ国防次官、外務次官、駐日大使 旧軍港四都市（横須賀、呉、佐世保、舞鶴）各市長
11月	上地克明横須賀市長（産業まつり視察） 小泉進次郎衆議院議員及び作家塩野七生女史

12月	タイ王国海軍人事部長ラムコム中将以下6名 高須クリニック院長高須克弥氏（統合幕僚監部の案内）
2月	フィンランド国防大臣ほか11名

(5) 防衛省職員の研修

自衛隊の12部隊等の隊員・職員（延べ1,234名）が研修のため来艦した。

7 会 員

(1) 会員数

休眠会員（年会費2年以上未振込、郵便物送付不可等）を退会処理とした。

会員の種類		新入会員数		年度末会員数	
		30年度	29年度	30年度	29年度
個人 会 員	通常会員	104	62	809	941
	終身会員	53	60	2,364	2,434
	維持会員	16	5	181	171
	計	173	127	3,354	3,546
法 人 会 員	通常会員	0	2	59	62
	終身会員	0	1	24	24
	維持会員	0	0	16	16
	計	0	3	99	102
合 計		173	130	3,453	3,648

(2) 月別会費収（単位：千円）

年 度	4月	5月	6月	7月	8月	9月
30年度	544	212	345	300	382	221
29年度	346	228	410	324	133	287

10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
164	342	243	236	328	476	3,793
165	154	166	297	404	484	3,398

(3) 会員対策

ア 海自第2術科学校において上級管理講習者に対し、三笠保存会入会勧誘を2回実施した。

イ 海自各地方総監部管理部長及び基地業務隊司令へ入会案内の書類を送付し退職隊員への入会勧誘を依頼した。

ウ 三笠保存会会員の魅力向上のために、会員の特典を改正した。改正の概要は次のとおり。

① 会員証を提示して、三笠を無料で、同伴者は団体料金で観覧できる。

② 会員証を提示して、売店を1割引（一部の商品を除く）で利用できる。

エ 来艦者及び入会会員増を目的として、会員へ優待券を配布した。

オ 平成26年度から年会費のゆうちょ銀行による自動振込を実施してきたが、利用者数が最大20件であったこと事から取りやめた。（ゆうちょ銀行の自動

振り込み数の基準は100件)

8 運 営

(1) 会 議

名 称	年 月 日	場 所
第25回運営委員会	30. 5. 31	記念艦「三笠」
第14回理事会	30. 6. 7	
第14回評議員会	30. 6. 22	
臨時理事会	30. 6. 22	
第26回運営委員会	30. 9. 13	
第27回運営委員会	30. 11. 15	
第28回運営委員会	31. 1. 17	クラブ水交
第15回理事会	31. 3. 13	記念艦「三笠」
第15回評議員会	31. 3. 22	

(2) 理事等の交代

6. 22 (金) 付で次の理事等が就 (退) 任しました。

	退 (辞) 任	就 任
理 事	秋本 丈仁	上条 浩
理 事	佐藤 和男	泉谷 翔
監 事	新倉 賢爾	
評 議 員	六馬 健雄	佐藤 明

(3) 規則の改定、制定

ア 三笠保存会給与支給規則別表「基本給表」の改定

30. 10. 1 (日) 改正で神奈川県最低賃金が1時間983円となったことにより、三笠保存会給与支給規則別表「基本給表」の最低等級最低号俸額 (4等級1号俸: 147, 000円) が最低賃金を下回ることとなった。これを是正するため、最低等級最低号俸額を、改正最低賃金を下回らない額153, 000円 (5, 000円増額) とし、これに倣って「基本給表」各等級各号俸額を一律5, 000円増額し全部を改正した。

イ 公益財団法人三笠保存会特定費用準備資金等取扱い規程の制定

特定費用準備資金等の取扱いは会計処理規則の中で定めていたが会計処理規則と同列の規程が必要との県の指導があり新たに制定した。

ウ 会員規則の改正

会員特典の魅力化を図るために、会員は売店を1割引で、また、同伴者は団体料金で観覧できるよう改正した。

(4) 職員人事

ア 職員の異動については次のとおりである。

配 置	採 用	退 職
保安係	柚澤 優	熊谷 忠男
局長付		福島 良治

売店店員	三谷 康代	辻本 典子
総務課長	佐藤 文雄	

イ 30年度末における職員数は次のとおりである。

正職員	再雇用職員	パート	計
8 ※1	4	5 ※4	17 ※5

注：※印は女子職員を示し、内数である。

(5) 関係官公庁、友好団体等行事への参加

ア 靖国神社及び東郷神社の春・秋例大祭等

イ 海上自衛隊、関係官公署、友好団体等の行事

(6) 職員の研修

ア 職員勉強会

12.13（木）閉艦後、下甲板ホールにおいて、部外講師をお招きして「接客マナーの研修会」を開催、職員の接客マナーの向上を図った。

イ 2.19（火）及び21（木）職員を2組に分けて、展示・接客要領等の向上を図るため、横浜の「日本郵船氷川丸」及び「横浜みなと博物館」の研修を行った。

(7) 立入調査・検査

ア 横須賀地方総監部による立入調査

9.20（木）海上自衛隊横須賀地方総監との「記念艦三笠運営委託契約書」の第15条（立入調査）に基づく立入調査を受けた。今回は、主に三笠の船体、施設の現状確認が行われた。

イ 県による立入検査

12.10（月）公益認定法に基づく神奈川県文書課公益法人グループ担当職員（4名）による「運営組織及び事業活動の状況に関する立入検査」を受検した。指導事項については順次修正した。

9 売店部

(1) 営業収入

30年度商品総売上高は62,842千円で昨年度比114.5%となった。売上増加策として、次の新商品を開発した。

ア 鎖付錨タイピン（女性用）

イ Z旗タイピン（女性用）

ウ 海軍カレーラーメン

エ 海軍カレーうどん

オ Z旗ステッカー

カ デコレーションテープ 三笠、国際信号旗

キ Z旗カフスセット

ク カラーチェンジンググラス

ケ 三笠オリジナルしおり（4枚組）

コ 三笠年賀はがき 5枚、10枚セット

サ 三笠ティッシュボックス

(2) 通信販売

三笠ホームページ・ショッピングサイトによる通信販売実績は、取扱件数186件(昨年比98%)、販売金額70万8千円(昨年比80%、売上金額の1.2%)であった。

(3) クレジット決済販売

クレジット決済販売実績は、取扱件数1,896件(昨年比151%)、販売金額475万2千円(昨年比127%、売上金額の7.7%)であった。